

病院名:社会医療法人松本快生会 西奈良中央病院 医療圏:奈良

※R7年度、R8年度(2026年度)の列は、今年度の病床機能報告及び様式2の数値を記入してください。

			(a) ＜H28年度＞ 許可病床数	＜R7年度＞ 許可病床数	うち、最大使用 病床数 (注1)
一般 病床・療養 病床	高度急性期				
	急性期	重症	94床	94床	94床
		軽症	72床		
	回復期			72床	72床
	慢性期				
	休棟中 (今後再開する予定)				
	休棟中 (今後廃止する予定)				
	(合計)(自動計算)		166床	166床	166床
精神病床					
結核病床					
感染症病床					
介護医療院					

(b) 将来 (R8/2026年度) 病床数	(b-a) H28年度からの 増減 (自動計算)
	0床
94床	0床
	-72床
72床	72床
	0床
	0床
	0床
166床	0床
	0床
	0床
	0床
	0床

(注1)最大使用病床数
・1年間(R6.4.1～R7.3.31)に最も多く入院患者を収容した時点で使用した病床数のことです。

令和7年度 地域医療構想における具体的対応方針

1. 基本情報

病院名：社会医療法人 松本快生会 西奈良中央病院

医療圏：奈良

2. 地域医療構想の実現に向けた自院の取組について

(1) これまでの地域医療構想や昨今の受領動向の変化、2040年頃を見据えた新たな地域医療構想の方向性を踏まえ、自院が地域で担う役割等について（現状と今後の方向性）

急性期疾患としては、消化器科(内科・外科)、整形外科、泌尿器科の疾患を主軸とし、「救急」「慢性透析」「緩和ケア」「予防医学」についての体制を整えるとともに、在宅療養支援病院として、法人の在宅介護部門、介護老人保健施設等の介護機能を最大限に生かしたケアミックス型の病院の体制を維持、発展させる。

＜重症急性期機能＞

消化器科(内科・外科)

消化器内視鏡を中心とした内視鏡検査、内視鏡治療、外科手術を実施。

消化器内視鏡に関しては、奈良県総合医療センターと比較しても医師の技術としては同等、機能的にも準ずる機能を有しており、奈良県総合医療センターと連携を取りながら治療を実施。

消化器外科手術、食道、肝胆膵などの悪性疾患については、一般急性期病院機能を持ち、術後から終末期まで面倒見のよい病院として地域の中核病院の役割を担う。

整形外科

整形外科疾患は、慢性疾患・急性疾患ともに奈良県内では、それぞれの専門性により役割分担が出来ており、連携を取りながら診療を行っている。当院においても、専門性を生かした診療を行い、継続的に専門機能の充実を図る。また、手外科センター、人工関節センターの開設に伴い、対象疾患の受け入れを積極的に行い、手術症例の件数増加を図る。

泌尿器科

泌尿器科疾患は、体外衝撃波結石破砕装置(ESWL)・良性疾患・経尿道的内視鏡治療を中心とした診療を行い、「面倒見の良い病院」として、急病に対応出来る体制維持、充実を図る。

悪性腫瘍、特に内視鏡手術の適応となる疾患については高度急性期病院へ紹介を勧める。

病床について

急性期病床としては、一般病棟48床、地域包括医療病棟46床(令和6年9月に一般病棟より変更)を有し、早期に生活の場への復帰を目指すため、急性期患者を主な対象として積極的に受け入れる。18さらに在宅療養支援病院として、24時間体制の訪問診療体制をとり、軽症急性期・レスパイト入院を積極的に受け入れる。

＜回復期機能＞

平成29年10月に急性期病棟48床を地域包括ケア病棟に転換し、緩和ケア病棟24床と併せて、72床の回復期病棟を保持している。

地域包括ケア病棟(48床)

ポストアキュート・サブアキュートの疾患を積極的に受け入れ、さらに在宅療養支援病院として、24時間体制の訪問診療体制をとり、軽症急性期・レスパイト入院を積極的に受け入れる。

高次病院からのポストアキュートの受け入れ。

緩和ケア病棟(24床)

全室個室で医師・看護師を手厚く配置し、癌終末期の患者に対するホスピス入院とともに、在宅緩和ケアの後方支援として症状緩和のための短期入院、レスパイト入院を受け入れる複合型の緩和ケア病棟の体制をとる。

＜血液透析＞

80床の人工透析装置を配置し、維持透析としての血液透析のみでなく、血液濾過透析を行い、さらに腹水濾過濃縮再静注法も行っている。

また、週3回患者の社会復帰を目的としたオーバーナイト透析を実施する。

＜予防医学＞

健康管理センターを中心に、人間ドック・健診施設機能評価認定を受けており、きめ細やかな生活指導、サービスの提供を通じて、地域の方々の健康維持に努める。

（２）今後、増加が見込まれる高齢者救急への対応について

当院は2024年度診療報酬改定で新設された地域包括医療病棟を活用し、高齢者の救急受け入れ体制を強化している。また、一般病棟、地域包括医療病棟、地域包括ケア病棟、緩和ケア病棟と様々な病棟を用意することで、急性期治療から在宅復帰支援まで切れ目なく対応できる環境を整え、地域の高齢者救急に積極的に取り組みを継続する。

（３）今後、増加が見込まれる在宅医療需要への対応について

※提供体制強化や体制整備の予定等ありましたら合わせてご記載ください

増加が見込まれる在宅医療の需要に対し、現状の訪問診療体制を維持しつつ、ICTを活用し診療情報の共有強化など、サービスの質向上に取り組んでいく。また、在宅療養支援病院として、近隣の高齢者施設との連携をこれまで以上に密にし、急変時の受け入れや日頃の健康管理支援、感染対策指導などを通じて、在宅療養を継続できる環境づくりに積極的に取り組んでいく。また、在宅緩和ケア患者への訪問も積極的に実施し、入院が必要な場合は緩和ケア病棟での入院を受け入れる。

（４）今後の医療従事者の確保や医療提供の維持に向けた方策、検討の状況について

※医療DX、タスクシフト・シェア等の取組状況がありましたら合わせてご記載ください

当院では、医療従事者の確保と医療提供体制の維持に向け、業務の効率化を積極的に進めるためにセル看護の導入を検討しており、看護業務の効率化とチーム医療の強化を図っています。また医療DXの推進のために電子カルテとスマートフォンの連動などのデジタル技術を活用し、診療業務や事務の効率化を進めることで、限られた人材で安定した医療提供を維持できるように検討している。

3. 各領域の対応状況について

※以下[1]～[15]の領域の今後の方向性について記入してください。
※選択肢については、あてはまるものにチェックをつけてください。

[1]がん

[1-1]当該領域について対応しているか？

☒ 対応している

[1-2]手術の実施

消化器；泌尿器；骨軟部

[1-3]化学療法の実施

☒ 実施している

[1-4]放射線治療の実施

☒ 実施していない

[1-5]拠点病院等の指定

☒ 指定されていない

[1-6]特記事項

—

[2]心筋梗塞等の心血管疾患

[2-1]当該領域について対応しているか？

対応していない

[2-2]24時間心血管疾患の急性期医療の実施

—

[2-3]緊急心臓カテーテル検査及び治療の24時間365日実施

—

[2-4]経皮的冠動脈形成術もしくは経皮的冠動脈ステント留置術の実施

—

[2-5]心疾患に対する外科手術の実施

—

[2-6]冠動脈バイパス手術の実施

—

[2-7]急性大動脈解離の手術の実施

—

[2-8]大動脈瘤手術の実施

—

[2-9]心血管疾患等への早期リハビリ

—

[2-10]特記事項

—

[3]脳卒中等の脳疾患

[3-1]当該領域について対応しているか？

実施している

[3-2]脳梗塞に対するt-PAによる脳血栓溶解療法の実施

実施している

[3-3]脳梗塞に対する脳血管内治療(経皮的脳血栓回収術等)の実施

実施していない

[3-4]脳出血（くも膜下出血を含む）への対応

対応していない

[3-5]くも膜下出血に対する脳動脈クリッピング術

実施していない

[3-6]くも膜下出血に対するコイル塞栓術

実施していない

[3-7]脳出血に対する開頭血腫除去術

実施していない

[3-8]脳血管疾患等への早期リハビリ

実施している

[3-9]特記事項

—

[4]救急医療

[4-1]当該領域について対応しているか？

[4-2]救急告示病院の指定を受けているか？

受けている

[4-3]大腿骨骨折への対応

[4-4]病院群輪番制への参加

参加している

[4-5]小児科病院二次輪番体制への参加

参加していない

[4-6]特記事項

—

[5]リハビリ

[5-1]当該領域について対応しているか？

対応している

[5-2]回復期リハビリ病棟入院料届出の有無
無し

[5-3]上記が有りの場合、届出病床数

—

[5-4]訪問リハビリの実施

実施している

[5-5]通所リハビリの実施

実施していない

[5-6]今後の方向性

—

[6]在宅医療

[6-1]当該領域について対応しているか？

※ここで言う在宅医療は「在宅医療の提供」「他医療機関等との連携」「後方支援」を含む概念とします。

[6-2]在宅療養支援病院の届出の有無

有り

[6-3]在宅療養後方支援病院の届出の有無

無し

[6-4]特記事項

—

[7]訪問看護

[7-1]病院看護師が当該領域について対応しているか？

対応していない

[7-2]同一法人内に訪問看護ステーションをもっているか？

ない

[7-3]上記でありの場合、その名称

[7-4]特記事項

—

[8]ACP（アドバンス・ケア・プランニング）への取組

[8-1]「適切な意思決定支援に関する指針」（「適切な看取りに対する指針」）について
定めている

[8-2]特記事項

—

[9]小児医療

[9-1]当該領域について対応しているか？

対応していない

[9-2]小児入院医療管理料の算定

—

[9-3]新生児特定集中治療室管理料の算定

—

[9-4]医療的ケア児を受け入れている

—

[9-5]特記事項

—

[10]周産期医療

[10-1]当該領域について対応しているか？

対応していない

[10-2]分娩の取扱い

—

[10-3]ハイリスク分娩管理加算の算定

—

[10-4]特記事項

—

[11]災害医療

[11-1]当該領域について対応しているか？

[11-2]災害拠点病院の指定を受けているか？

受けていない

[11-3]DMAT指定病院の指定を受けているか？

受けていない

[11-4]E M I S（広域災害救急医療情報システム）への参加

参加している

[11-5]特記事項

—

[12]へき地医療

[12-1]当該領域について対応しているか？

対応していない

[12-2]へき地医療拠点病院の指定を受けているか？

—

[12-3]特記事項

—

[13]医師の研修・派遣機能（臨床研修の実施等を含む広域的な医師派遣の拠点としての機能）

[13-1]当該領域について対応しているか？

[13-2]基幹型臨床研修病院の指定を受けているか？

受けていない

[13-3]協力型臨床研修病院の指定を受けているか？

受けている

[13-4]臨床研修協力施設であるか？

該当する

[13-5]専門研修の基幹施設であるか？

該当しない

[13-6]専門研修の連携施設であるか？

該当する

[13-7]特記事項

—

[14]医師の働き方改革

[14-1]医師の宿日直許可の取得状況

取得済み

[14-2]上記で一部の場合、その範囲

取得済み

[14-3]特記事項

—

[15]看護職員の研修機能

[15-1]特定行為研修の指定研修機関の指定申請予定はあるか？

ない

[15-2]特定行為研修の協力施設の申請予定はあるか？

ない

[15-3]特記事項

—